

# 富山大学薬学部 学生後援会

## 平成30年度(第21回)総会 報告書

平成30年4月5日(木) 午後1時30分より  
富山大学杉谷キャンパス看護学研究棟1階10番講義室

次 第:

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
  - 5-1. 平成29年度事業報告 (p. 2)
  - 5-2. 平成29年度会計報告 (p. 11)  
監査報告 (p. 14)
  - 5-3. 新役員選出 (p. 15)
  - 5-4. 平成30年度事業予定(案)審議 (p. 16)
  - 5-5. 平成30年度予算(案)審議 (p. 20)
6. その他
  - 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動 (p. 23)
  - 6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について (p. 24)
7. 閉会

総会終了後, 御質問・御要望などに関して自由討論

はじめに、小林 昭彦 会長から挨拶があった。その後、酒井薬学部長より「富山と薬」や「薬学部の現状」（学生の出身地、アドミッションポリシー、薬学科および創薬科学科における講義の特色、薬剤師国家試験や就職状況など）に関する説明があった。続いて、小林会長が議長となり、総会が進行された。

## 5. 議事

### 5-1. 平成 29 年度事業報告

#### 5-1-1. 平成 29 年度(第 20 回)総会

平成 29 年 4 月 6 日(木)、入学式終了後午後 1 時 30 分より平成 29 年度総会を看護学研究棟 1 階 10 番講義室において、会員・新会員(新入学生保護者)の他、薬学部教員も多数出席して行われました。会長坂井明広様によるご挨拶を頂戴し、その後、細谷薬学部長より薬学部の現状(学生の出身地、アドミッションポリシー、薬学科および創薬科学科における講義の特色、薬剤師国家試験や就職状況など)に関する説明がありました。

その後、坂井会長が議長に選出され、審議に入り、平成 28 年度の事業と決算が報告され承認されました。

続いて平成 29 年度の正会員理事 26 名、教職員理事 9 名(TOEIC 講習補佐を含む)、正会員監事 1 名、教職員監事 1 名が承認されました。

続いて事業計画と予算の審議に入り、国家試験対策支援のスケジュール、TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援など平成 29 年度の事業計画について各担当教職員理事より説明がありました。引き続き、国家試験及び TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は 340 万円、課外活動援助は 70 万円とするなど昨年度とほぼ同等の予算案が提案され、事業計画と合わせて承認されました。

総会終了後、希望者を対象に杉谷キャンパス内の施設見学会を実施しました。

## 5-1. 平成 29 年度事業報告(続き)

**学生後援会は、薬剤師国家試験対策や TOEIC 対策, 卒業論文発表会を支援しております。**

### 5-1-2. 課外教育援助① (国家試験対策)

結果

薬学部 6 年制導入後の第 7 期生が 2017 年度に最終学年を迎え、2018 年 2 月 24 日及び 25 日に新卒者 52 名 (1 名未受験) および既卒者 17 名が薬剤師国家試験を受験しました。先日 3 月 27 日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です (前々回全国合格率 : 76.85%, 前回全国合格率 : 71.58%, 今回全国合格率 : 70.58%、詳細は略)。

2017 年度に学生後援会として、薬学科 6 年生 (52 名) および博士課程薬剤師コース 4 年生 (4 名) 向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 講義 (52 コマ) 13 日間, 模擬試験 (5 回) 8 日間
- ・ メディセレスクール社: 模擬試験 (1 回) 2 日間

費用 (詳細は略)

学生後援会では、新卒者を対象に国家試験対策費用の支援を行っています。薬学部 6 年生 (新卒者) に対しては、学生後援会より一人当たり 15,936 円を支援しました。

その他

本年度は講義 52 コマ終了後、薬学ゼミナール担当者と協議のうえ、別途特別講義を開講し、富山駅前で 16 コマの追加講義を実施しました。これについて学生後援会は直接関与していませんが、7-8 割の学生が参加しました。

## 5-1. 平成 29 年度事業報告(続き)

### 5-1-3. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

#### A. 報告

##### 1) TOEIC 講習会 (2017 年 11 月 4 日 (土))

- 企画概要: ①創薬科学科学生の就職対策支援として TOEIC 講習会, 学内 IP テストを企画・支援。  
 ②薬学科学生も参加可能 (講習会 5000 円の参加費, 学内 IP テストは実費で参加)。  
 ③入門&スコアアップコースの 2 クラス制での実施 (今年で 3 年目)。  
 ④外部講師に TOEIC 対策の専門講義を依頼 (2 講師, イーオン社, 名古屋)。  
 ⑤ 1 クラス分の講師代と添削費を薬学部長裁量経費で対応 (継続)。

実施状況: 参加 55 名 (申込 58 名, 欠席 3 名)。(参考) 前年 46 名

詳細: 申し込み人数 (欠席者数)

(1) 入門コース: 27 名 (欠 1)	創薬科学科 3 年	21 名 (欠 1)	4 年 6 名 (欠 0)
	薬学科 3 年	0 名 (欠 0)	4 年 0 名
(2) スコアアップ: 28 名 (欠 2)	創薬科学科 3 年	19 名 (欠 0)	4 年 7 名 (欠 2)
	薬学科 3 年	2 名 (欠 0)	4 年 0 名 (欠 0)

対象別	支援対象 (創薬科学科)	53 名 (欠 4)
	支援外 (薬学科)	2 名 (欠 0)

経費:

① 1 名分の講師代 + (2 クラス分の教材費 + 事後学習のメール添削費) : 学生後援会で負担

		単価	計
講師 (1 名)	5 時間	¥21,600	¥108,000
教材費 (テキスト)	51 名	¥2,050	¥104,550
教材費 (配付資料)	58 名	¥1,030	¥59,740
添削費 (入門クラス)	27 名	¥820	¥22,140
交通費 (バス: 名古屋~富山)	2 回	¥4,630	¥9,260
		小計	¥303,690
合計 (含振り込み手数料: ¥864)			<b>¥304,554</b>

注 1: 前年度は ¥261,854

注 2: 教材費のうちテキスト分は前回での欠席者のものも利用し, 今回 51 部のみ購入。

注 3: スコアアップ・クラスの講師代と交通費と添削費は薬学部 (学部長裁量経費) で負担。

(学部負担額: ¥140,220) (前年度は ¥130,380)。

② 参加費収入: 5000 円 × 支援外参加: 3 名 (薬学科 2 名, 未加入 1 名) 計: **¥15,000** (収入)

③ ホテル代 2 名分を後援会で負担:

¥6,800 × 2 名 = ¥13,600, 振り込み手数料 ¥864, 計:

**¥14,464**

についての  
からの  
中退出者

【講習会  
での学生  
評価】\*途  
を除く

##### ① 入門コース (回答数 27)

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

	人数	0	0	1	8	18
レッスンに満足?	%	0%	0%	4%	30%	67%
レッスンの内容は理解できた?	人数	0	0	2	9	16
	%	0%	0%	7%	33%	59%
教師に満足?	人数	0	0	1	8	18
	%	0%	0%	4%	30%	67%

(主に肯定意見) ○楽しかったです。長時間で疲れたが、こまめに休憩があってよかった。○高得点をとるために、それなりに対策をとらないといけないのがわかった。今日の講義をきっかけに少しずつ勉強しようと思った○とても良かった。○英語は苦手ですが、がんばってみようと思いました。○とてもわかり

やすい説明、ありがとうございました。○とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。○楽しかったです。○がんばりたい。○すぐくためになった。今受けることができてよかった。Basic クラスで十分ためになる。後輩は受けるべき。(肯定/課題あい半ば) △今回の問題の解説付きの回答がほ

しかった。笑顔がステキだった。

② スコアアップコース (回答数 28)

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

レッスンに満足?	人数	0	0	0	5	23
	%	0%	0%	0%	18%	82%
レッスンの内容は理解できた?	人数	0	0	0	8	20
	%	0%	0%	0%	29%	71%
教師に満足?	人数	0	0	0	6	22
	%	0%	0%	4%	21%	79%

(主に肯定的意見) ○音読が大事だと思いました。問題の量も多すぎることなくちょうどよかったです。○とても良いセミナーだったと思います。スコアを上げられるように勉強していきたいと思えます。○音読・シャドーイングの大切さを実感しました。毎日コツコツ頑張ります。○授業での TOEIC 対策内容と重なる点と異なる点があり、それぞれ重要性と別の視点が理解できたように思う。○コツや問題の見方を知れてよかった。○吉野先生の説明が非常に分かりやすく、これから TOEIC の勉強を頑張ろうと思いました。○音読がとにかく大切だと分かった。○とてもわかりやすく、とても楽しいセミナーでした。○わかりやすくおもしろい研修だった。TOEIC の勉強も含め、毎日英語に触れたいと思った。特に音読を頑張りたい。○1人1人の名前であてていたのが良かった。○すぐくためになりました。○とてもわかりやすいセミナー

で、これから勉強していこうとやる気ができました。○このセミナーがなく、自分だけだったら、やろうともしなかったかもしれないので、ありがたかったです。○実践的な内容でとても有意義だったが、これから点数を上げるためには、自分の努力次第なのだと思います。○教師の方が自身の体験を基に説明して下さったことが分かりやすかった。○今日一日では、身に付いた感覚がありませんが、今後続けることでスコアアップすると信じて勉強しようと思います。講師の方にプロの品格を感じました。

(改善点を含む肯定意見) △音読の教材はあるが、Reading の教材は TOEIC 問題集ということで良いのでしょうか? △CD がとんだのが切ない。少し難しくてちょうどよかった。

(改善点) ■テキストの英語分かる単語がほとんどだったので、もう少し難しい内容だと単語の勉強にもなると思いました。

2) TOEIC IP テスト (2017年1月6日(土)実施)

参加人数 (3年次以上の薬学部学生): 50名 (創薬科学科3年:10名, 4年:16名)

後援会経費支援: 45名 (創薬科学科3年:36名, 4年:9名)。(昨年度21名, 前々年度17名)

支援経費: 受験料 ¥3,395 × 45名 = ¥152,775, 振り込み手数料 ¥864, 合計: **¥153,639**

IP テストの成績:

	①受検者 (薬学部全体)		②講習会受講者	
	人数	平均	人数	平均
受検結果	50名	482.1点	37名	478.2点

要点(1) 500点を越えられない層がある。(講習会からIPテストまでの学習が不十分なケースも)。

特に受講者であっても、200点台2名, 300点台3名。(昨年度からの傾向)。

要点(2) 受検者数は増: 26→50名。平均点は下降: 前年度481.2点, 前々年度: 502.9点。

(参考) 過去の講習会受講者平均: 前年度495.0点, 前々年度: 506.7点。

3) TOEIC の最高点 (就職前) の調査 (薬・創薬・大学院を問わず就職予定の学生を対象に)

H26~H29でのアンケート結果: うち TOEIC 受検者 52名

受検経験者の得点 (IP テストを含む):

	①受検経験者 (学部全体)		②3回以上受検		③講習会経験		④学習法の指摘あり	
	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均
受検結果	52名	606.4点	24名	665.2点	33名	599.3点	23名	699.1点

要点(1) IP テストだけで止まっている層がある。受検回数が多いと点数は up。

要点(2) 自分の学習法が掴めると点数は up。最多の指摘は『TOEIC 公式問題集』。講習会も有効。

## B. まとめと対策

- 1) まとめ①：講習会参加人数は回復。平均点は 480 点で足ぶみ。
- 2) まとめ②：受検者は増えたが、事後・継続学習に課題（特に苦手学生）。
- 3) 対策 ①：H30 年は 2 年次に講習会を前倒し。
- 4) 対策 ②：TOEIC 指導を含む「薬学英語」も 2 年次の授業としてスタート。  
それに合わせて TOEIC 講習会の中身も調整：
  - 2 年次から受検を指導（オリエンテーション等）。
  - TOEIC 講習会の二つのコースの練り直し。
    - (a) 入門コース：より苦手学生を視野に。
    - (b) スコアアップコース：より本格的な受検指導に。

## 5-1. 平成 29 年度事業報告(続き)

### 5-1-4. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

平成 30 年 2 月 16 日 (金) に、平成 29 年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス講義棟で行われました。創薬科学科生は 1 年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習 (事前学習) および共用試験の中断を除く約 8 ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表し討論しました。例年通り活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生 (3 年次生を含む) による投票が行われ、創薬科学科生では卒業論文最優秀発表賞に 1 名、卒業論文優秀発表賞に 5 名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に 6 名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞 (薬学科生は賞状のみ) を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

## 5-1. 平成 29 年度事業報告(続き)

### 5-1-5. 課外活動に対する補助金

平成 29 年度の課外活動に対する補助金を決定し支給しました。(詳細は略)

### 5-1-6. 奨学資金援助

平成 29 年度は奨学援助金の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は 22 名であり、貸与中の状況は以下の通りです。(詳細は略)

## 5-1. 平成 29 年度事業報告(続き)

### 5-1-7. 広報

薬学部学生後援会のホームページを作製し、情報を公開しております。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成 29 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載するとともに、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

### 5-1-8. 保護者懇談会

大学(杉谷キャンパス)祭開催期間に合わせ、平成 29 年 10 月 21 日(土)の午後 2 時より保護者懇談会を附属病院 2 階臨床講義室 I にて開催しました。63 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。細谷学部長から薬学部の現状と就職状況についてのお話がありました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。皆様から予め寄せられた質問への回答の他、会場からの質問にもお答えいたしました。最後に、希望する保護者の方に対し学内見学会も実施いたしました。

### 5-1-9. 入会状況

平成 29 年度の新規加入者は 103 名(新入生薬学科 49 名、新入生創薬科学科 41 名、在学生薬学科 8 名、在学生創薬科学科 5 名)でした(H28.12.1~H29.11.30)。その後も、在学生創薬科学科 1 名の入会を受け付けました(H30.3.15 現在)。未入会の方には、研究室配属や保護者懇談会・総会案内状送付などの機会に本会の趣旨をお伝えしつつ入会をお願いしております。

**以上の平成 29 年度事業について、各担当理事から報告が行われた。**



## 5-2. 平成 29 年度会計報告

以下、本会計および緊急対策会計、奨学資金会計の収支決算および監査の報告があった。

平成 29 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 平成 29 年 3 月 1 日 ～ 平成 30 年 2 月 28 日)

### 収支決算報告書

#### 表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

#### 表 1-2. 学生後援会課外教育振替口座収支報告

<略>

#### 表 2-1. 緊急対策会計収支報告 (財源の部)

<略>

#### 表 2-2. 緊急対策会計収支報告 (積立の部)

<略>

#### 表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

#### 収支監査報告

<略>

### 5-3. 新役員の選出

#### 平成 30 年度役員を選出

##### 役員名簿

##### 正会員理事

会 長：小林 昭彦 (薬学科)

他、副会長 1 名、監事 1 名、理事 22 名

##### 学内理事 (教職員会員)

副会長： 酒井 秀紀 (薬学部長)

庶 務： 安東 嗣修 (応用薬理学)

入会・人事： 田口 雅登 (医薬品安全性学)

##### 課外教育

国家試験： 池田 恵介 (生体界面化学)

TOEIC 講習： 帯田 孝之 (構造生物学)

TOEIC 講習補佐： 名執 基樹 (独語)

課外活動・奨学資金： 水口 峰之 (構造生物学)

会 計： 田渕 明子 (分子神経生物学)

広 報： 守田 雅志 (分子細胞機能学)

監事 (教職員会員)： 守田 雅志 (分子細胞機能学)

**会長, 副会長, 学内外の新理事, および監事が承認された。**

## 5-4.平成 30 年度事業予定

### 5-4-1. 課外教育援助①（国家試験対策支援, 薬学科 6 年生対象）

平成 30 年度は、新カリキュラム導入後の第 8 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

・平成 30 年	5 月頃	国家試験についてのガイダンス
・	5 月末頃	スタートアップ模試（薬学ゼミナール）
・	7 月末頃	ステップアップ模試（薬学ゼミナール）
・	9 月頃	全国統一模擬試験Ⅰ（薬学ゼミナール）
・	11 月頃	予備校によるガイダンス
・	11～12 月頃	予備校による講習会
・	12 月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ（薬学ゼミナール）
・平成 31 年	1 月頃	模擬試験（薬学ゼミナール以外）
・	2 月上旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ（薬学ゼミナール）
・	2 月下旬頃	第 104 回薬剤師国家試験

平成29年度の第103回国家試験は、過去数年と比較して難易度は高い結果となりましたが、本学新卒者の合格率は86.27%（第102回91.23%）と好成績をあげることが出来ました。第103回国家試験における出題傾向として、必須問題は「平易」、理論問題は「やや難」、実践問題は「やや難」でした。例年以上に実際の症例に基づいた問題が多く、薬剤師として患者さんへの適切な対応や臨床的見地からの判断を問う内容が出題されていました。特に「考える力」、「問題解決能力」、「医療現場での実践力」を必要とする問題が多く、より臨床的な問題が出題されていました。

いずれも付け焼き刃では対応が難しいことから、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導致します。

平成30年度 of 国家試験対策は、過去3年間の対策を踏襲するとともに、より充実した対策が行えるよう努めます。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

## 5-4.平成 30 年度事業予定 (続き)

### 5-4-2. 課外教育援助② (TOEIC 支援, 創薬科学科対象)

平成 30 年度では, 以下の形で TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援を行いたいと考えています。

#### A. 概要

(変更点)

2 年次から TOEIC 講習会の受講, TOEIC-IP テストの受検支援を開始。

(概略)

1. 創薬科学科の 2 年次以降の学生が支援対象 (講習受講費と 1 回分の教科書代, キャンパステスト 1 回分の支援)。それ以外の薬系学生が講習会に参加を希望する場合には, 参加費として 5000 円を求める (教科書代込み) (キャンパステストは自己負担での参加が可能)。
2. 創薬科学科 3 年生以降でも講習会受講を後援会が支援する (創薬科学科については受講料を免除。繰り返し受講を含む。ただし, 2 度目の場合は, 教科書代は個人負担となる)。
3. キャンパステストは事情により受験できないケースも考え, 創薬科学科 2 年次～4 年次いずれかにおいて受験する分を支援するものとする (いずれも 1 月実施の試験 1 回分が対象)。
4. オリエンテーション等で, 2 年次からの英語学習の意義と後援会の TOEIC 支援活動について説明し, 英語学習意識の浸透をはかる。

#### B. 留意点 (★印は特に今年度に留意して取り組むもの)

##### 1. TOEIC 講習会

・ 2 クラス体制の中身の調整。

(1) 入門コース: リスニングを中心に TOEIC500 点台を目指す学習法を学ぶ。

★英語苦手学生にも対応したプログラムを依頼。

(2) スコアアップコース: リーディング対策なども加え, TOEIC700 点台を目指す学習法を学ぶ。★より受験対策的な内容で依頼。

(背景) 2 年次で TOEIC 対策を含む授業科目「薬学英语」の授業がスタート。

4 年次学生より大学院進学時に TOEIC の得点を課すことに。

(進学支援としての TOEIC 支援の側面。特に苦手学生を意識する必要あり)

・ 1 クラス分の講師代の学部からの支援を依頼 (学部長裁量経費等)。

##### 2. IP テスト

・ 講習会 2 ヶ月後の IP テストの創薬科学科学生の受検経費 (1 回分) を支援。

##### 3. その他

(a) 就職時アンケート: 最終 TOEIC 得点, おすすめ学習法等。

・ 最終的な獲得点数と学習法についてのアンケートを継続して実施。

(b) オリエンテーション

- 2年次～4年次学生に4月の学年別オリエンテーションで指導：
- TOEIC対策を学生生活に組み込むよう指導。
- 大学の自己学習環境について説明：  
WEB上の「TOEIC演習2000」、図書館の関連図書等の紹介。
- 就職時アンケート（上記(a)）の紹介（先輩の「おすすめ学習法」等）。

## **5-4.平成 30 年度事業予定（続き）**

### **5-4-3. 課外活動援助**

例年通り、各課外活動団体からの申請があれば、薬学部学生の所属数に基づき、既定の範囲内で援助を行う。

### **5-4-4. 奨学資金援助**

未返還者への督促を行うとともに、新たな貸与希望者がいる場合には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う。

### **5-4-5. 広報活動**

薬学部ホームページを用いて、後援会活動の報告等を活発に行う。

富山大学薬学部学生後援会ホームページ <http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

### **5-4-6. 保護者懇談会の開催**

平成 30 年 10 月 20 日（土）（杉谷（医薬系）キャンパス祭開催時）に開催予定。多数の保護者の方の参加をお待ちしております。

**以上、平成 30 年度事業計画が説明され、原案の通り承認された。**

5-5. 平成 30 年度予算

表 4-1. 学生後援会本会計予算

<略>

表 4-2. 学生後援会課外教育振替口座会計予算

<略>

表 5. 緊急対策会計予算（積立の部）

<略>

表 6. 奨学資金会計予算

<略>

以上、平成 30 年度予算案が原案の通り承認された。

## 6. その他

### 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動

**学会での受賞等** (薬学部同窓会誌「遠久朶」第95号(2018.2)より抜粋, 学年はH29年度)

- ・優秀発表賞 (日本薬学会第137年会 2017年3月)  
新澤 健太 (薬学科博士課程1年; 附属病院薬剤部研究室)
- ・最優秀発表者賞 (日本薬剤学会第32年会 2017年5月)  
辻 貴大 (博士前期課程2年; 製剤設計学講座)
- ・学生賞 (日本膜学会第39年会 2017年5月)  
杉浦 太一 (博士後期課程2年; 生体界面化学研究室)
- ・学生ベスト発表賞 (日本生化学会北陸支部第35回大会 2017年6月)  
金田 真理彩 (博士前期課程2年; 分子神経生物学研究室)  
杉田 愛 (博士前期課程2年; 遺伝情報制御学研究室)
- ・Junior Investigator Poster Award (第40回日本神経科学大会 2017年7月)  
小湊 誠也 (博士前期課程1年; 神経機能学分野)
- ・優秀発表賞 (第1回天然薬物に関する国際会議 2017年8月)  
海老原 健 (博士前期課程2年; 複合薬物薬理学分野)
- ・ポスター賞 (第34回シクロデキストリンシンポジウム 2017年8月)  
由澤 敦史 (博士課程3年; 薬化学研究室)
- ・優秀発表賞(口頭発表部門) (第34回和漢医薬学会学術大会 2017年8月)  
山内 唯 (薬学科5年; 神経機能学分野)
- ・ポスター賞 (第2回富山・アジア・アフリカ創薬研究シンポジウム 2017年9月)  
菊川 孝 (博士前期課程1年; 応用薬理学的研究室)  
鞠 暉 (博士前期課程2年; 天然物化学研究室)  
高橋 果菜恵 (博士前期課程2年; 分子合成化学研究室)  
張 含培 (博士前期課程2年; 生薬資源科学分野)  
木田 凜太郎 (博士後期課程2年; 薬剤学研究室)
- ・ポスター優秀発表賞 (国際天然物素材・資源植物シンポジウム 2017年9月)  
禹 甫庚 (博士前期課程1年; 天然物化学研究室)
- ・特別賞 (Toyama Academic GALA 2017 2017年9月)  
海老原 健 (博士前期課程2年; 複合薬物薬理学分野)
- ・富山大学学長賞 第1回「未知に挑む女性研究者賞」(富山大学 2017年10月)  
石川 明香里 (博士後期課程2年; 病態制御薬理学的研究室)
- ・優秀講演賞 (平成29年度有機合成北陸セミナー 2017年10月)  
菅原 颯馬 (薬学科6年; 薬化学研究室)  
増田 賢太郎 (薬学科6年; 薬化学研究室)  
佐藤 千紘 (博士前期課程2年; 薬化学研究室)
- ・Poster Award (3rd International Symposium on Center of Excellence for Innovative Material Sciences Based on Supramolecules 2017年10月)  
林 友哉 (博士前期課程1年; 薬化学研究室)
- ・優秀ポスター発表賞 (第7回CSJ化学フェスタ2017 2017年10月)  
由澤 敦史 (博士課程3年; 薬化学研究室)
- ・学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部第129回例会 2017年11月)  
牧 俊人 (薬学部5年生; 応用薬理学的研究室)  
伊藤 輝志 (博士前期課程1年; 製剤設計学講座)  
高橋 果菜恵 (博士前期課程2年; 分子合成化学研究室)  
丹野 優 (博士前期課程2年; 薬剤学研究室)  
渡邊 愛理 (博士後期課程1年; 病態制御薬理学的研究室)  
楊 熙蒙 (博士課程1年; 神経機能学分野)  
由澤 敦史 (博士課程3年; 薬化学研究室)



## 6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について(医薬系学務課より)

富山大学薬学部では学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点より、平成26年度入学生から2年次以降の毎年5月に学生の保証人(親権者等)へ成績通知書を送付しています。ただし、留年が確定した学生については、3月中に成績を送付します。成績を受け取った後、今後の修学等について不安やご相談ごとがございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携しご相談に応じます。

平成25年度以前の入学生の保証人の方で成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込み願います。お申し込みに関しましては、毎年9月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。

**総会終了後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。**